

授業概要

科目名		テクニカルエイド演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
障害を持っている人や高齢者の自立支援の一つにテクニカルエイド(自助具・福祉用具)の活用があります。本講座ではテクニカルエイドそのものの特性と理解し、作業療法士として対象者とテクニカルエイドの適合を実施するための基礎知識や考え方を学びます。									
〔授業全体の内容の概要〕									
バリアフリー2018に参加し、テクニカルエイドを取り巻く現状を理解します。また、福祉用具企業にてリフトなど実際に体験し、学習します。校内ではテクニカルエイドの関連法規や種類と適合の過程を講義や事例演習で学習します。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕									
対象者の基礎情報(疾患・状態像など)からテクニカルエイド適合のための評価・適合判定の計画を立てることができるようになることとします。									
回数	講義内容								
1	福祉用具総論(定義・供給の流れ)								
2	福祉用具総論(介護保険制度等)								
3	福祉用具各論(バリアフリー展見学)校外演習								
4	福祉用具各論(バリアフリー展見学)校外演習								
5	校外学習の発表(プレゼン)								
6	福祉用具各論(歩行支援用具)								
7	福祉用具各論(株式会社ウィズ見学、シート実習)校外演習								
8	福祉用具各論(株式会社ウィズ見学、リフト実習)校外演習								
9	福祉用具各論(株式会社ウィズ見学、リフト実習)校外演習								
10	福祉用具各論(車いす)								
11	福祉用具各論(車いす調整)								
12	福祉用具各論(入浴関連)								
13	福祉用具各論(排泄関連)								
14	福祉用具各論(自助具・コミュニケーション関連)								
15	まとめ(質疑応答)								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名			出版社	
作業療法学全書 福祉用具の使い方・住環境整備					日本作業療法士協会			共同医書出版	
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
筆記試験にて評価します。									